

令和6年6月20日(木) ウェルとばた 2階 多目的ホール



ふれあひネットワーク
社会福祉法人
北九州市社会福祉協議会

令和6年度

校(地)区社会福祉協議会

新任役員研修

— 基本資料 —

目 次

| | |
|---------------------------------------|----|
| 令和6年度 校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 実施要領 | 1 |
| [講 義] 小地域福祉活動の意義と校(地)区社協運営について..... | 2 |
| [事例紹介] 地域福祉活動の事例に学ぶ | |
| 事例Ⅰ 「これからの「社協活動」について」..... | 13 |
| 事例Ⅱ 「持続可能な地域福祉活動を目指して」 | 21 |
| [講 義] 「地域のつながりと共に生きる力を育む」..... | 28 |

配付資料一覧

1. 本日の研修資料

- ・ 校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修-基本資料-(アンケート)
- ・ 校(地)区社会福祉協議会の手引き
- ・ プチボなまちづくり みんなが主役の小地域福祉活動

2. 情報提供

- ・ 令和6年度子育て支援ボランティア養成講座
- ・ 令和6年度知的・発達障害のある人へのボランティア入門講座
- ・ 北九州市介護支援ボランティア事業
- ・ シルバーひまわりサービス事業 送迎ボランティア募集中！
- ・ 地域支援コーディネーター
- ・ 生活困窮者支援リーフレット(三つ折り)
- ・ 北九州市社協だより(6/1・15号)

3. 研修事業のご案内

- ・ 令和6年度北九州市社会福祉協議会 ボランティア研修案内 (やさしさの広がるまちづくり)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴うお願い

- ① アルコール除菌液をおいていますので手指の消毒に、ご利用ください。
- ② もしも、受講中に気分が悪くなった場合は、スタッフにご連絡ください。

校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 実施要領

- 1 目 的** 私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」のために、校(地)区社会福祉協議会が中心となり、地域住民主体の小地域福祉活動を展開しています。
今回の研修では、新しく校(地)区社会福祉協議会の役員に就任された方々に、社協活動の基本を確認していただくとともに、リーダーとして校(地)区社会福祉協議会をどのように運営していくのか、市・区社会福祉協議会と一緒に考えていきます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会
- 3 会 場** ウェルとばた2階多目的ホール(戸畑区汐井町1-6)
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者** 新たに校(地)区社会福祉協議会役員に就任された方 【定員90名】
(新任の会長・副会長・ふれあいネットワーク部会長等)
- 5 受 講 料** 無料
- 6 日程・内容** 令和6年6月20日(木)

| 時 間 | 内 容 | 講 師 等 |
|---------------------|---------------------------------------|--|
| 13:00~ | 受 付 | |
| 13:30 ~ 13:40 | 開 会 | 北九州市社会福祉協議会 常務理事 田中 直子 |
| 13:40 ~ 14:00 | 講 義 「小地域福祉活動の意義と 校(地)区社協運営について」 | 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 部 長 平野 謙太 |
| 14:00 ~ 14:55 | 事例紹介 「地域福祉活動の事例に学ぶ」 | コーディネーター 北九州市立大学 地域共生教育センター 特任教員 末永 和也 |
| | 事例Ⅰ これからの「社協活動」について | 八幡東区前田第四地区 社会福祉協議会 会 長 久野 尚也 |
| | 事例Ⅱ 持続可能な地域福祉活動を目指して | 戸畑区西戸畑地区 社会福祉協議会 会 長 今泉 孝子 |
| ~15:05 | 休 憩 | |
| 15:05 ~15:55 | 講 義 「地域のつながりと共に生きる力を育む」 | 北九州市立大学 地域共生教育センター 特任教員 末永 和也 |
| ~16:00 | 閉 会 | 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 担当部長 杉本 真奈美 |



小地域福祉活動の意義と 校(地)区社協運営について

北九州市社会福祉協議会
地域福祉部 平野 謙太



どのような社会が望ましい？

地域住民同士が顔
馴染みで、困った
ことがあったら助
け合う社会。

困ったことがあれば
制度やサービスを
使って解決する。近
隣とはあまりお付き
合いしない社会。

- 1 社会の現状
 - 人口減少と75歳以上の増加
 - ひと世帯当たりの平均人数の減少
- 2 国の施策 ～地域共生社会と社会福祉法～
- 3 私たち、社会福祉協議会（社協）とは
- 4 北九州市地域福祉活動第六次計画
- 5 校(地)区社協の運営～先輩役員の言葉～

北九州市の年齢三区分別人口の推移

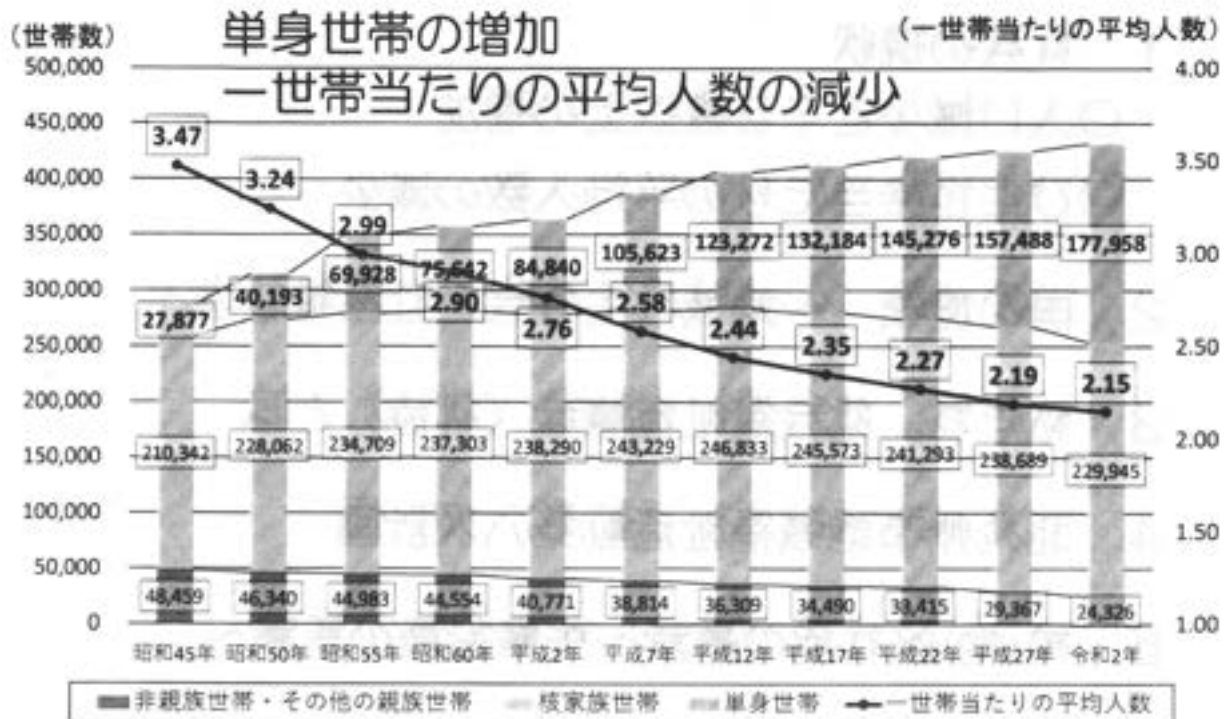
(単位：人)

| 年次 | 総人口 | 年齢三区分別人口 | | | |
|-------------|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------------------|
| | | 0～14歳 | 15～64歳 | 65歳以上 | |
| | | | | (総人口に占める率) | そのうち75歳以上 (65歳以上に占める率) |
| 昭和45年(1970) | 1,042,321 | 248,849 (23.9%) | 731,769 (70.2%) | 61,703 (5.9%) | 17,008 (27.6%) |
| 昭和50年(1975) | 1,058,058 | 253,730 (24.0%) | 727,539 (68.8%) | 75,935 (7.2%) | 23,250 (30.6%) |
| 昭和55年(1980) | 1,065,078 | 246,184 (23.1%) | 725,073 (68.1%) | 92,691 (8.7%) | 30,489 (32.9%) |
| 昭和60年(1985) | 1,056,402 | 223,518 (21.2%) | 723,711 (68.5%) | 108,757 (10.3%) | 39,967 (36.7%) |
| 平成2年(1990) | 1,026,455 | 182,798 (17.8%) | 709,516 (68.1%) | 130,423 (12.7%) | 51,047 (39.1%) |
| 平成7年(1995) | 1,019,598 | 156,649 (15.4%) | 701,664 (68.8%) | 160,584 (15.7%) | 61,593 (38.4%) |
| 平成12年(2000) | 1,011,471 | 140,202 (13.9%) | 675,675 (66.8%) | 194,250 (19.2%) | 78,472 (40.4%) |
| 平成17年(2005) | 993,525 | 131,893 (13.3%) | 639,776 (64.4%) | 220,985 (22.2%) | 99,872 (45.2%) |
| 平成22年(2010) | 976,846 | 126,391 (12.9%) | 599,183 (61.3%) | 244,860 (25.1%) | 119,738 (48.9%) |
| 平成27年(2015) | 961,286 | 119,448 (12.4%) | 549,397 (57.1%) | 277,120 (28.8%) | 136,035 (49.1%) |
| 令和2年(2020) | 939,029 | 109,590 (11.7%) | 503,800 (53.6%) | 286,177 (30.6%) | 150,527 (52.6%) |
| 令和6年(2024) | 916,003 | 106,527(11.6%) | 520,546(56.8%) | 288,927(31.5%) | 164,588(57.0%) |

【出所】総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)、年齢不詳者は年齢区分別人口に含まない

【出所】住民基本台帳(令和4年3月31日現在)、年齢不詳者は年齢区分別人口に含まない
 ※ 年齢区分別人口の割合は、総人口から年齢不詳者を差し引いた人口を分母としている。
 (令和2年国勢調査の年齢不詳者：39,462人、令和4年3月31日現在の住民基本台帳における年齢不詳者：3人)

世帯数の推移



【資料】国勢調査（総務省）

地域共生社会とは

制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに作っていく社会を指しています。



地域共生社会の実現に向けた取組の経緯

高齢化の中で人口減少が進行している日本では、福祉ニーズも多様化・複雑化しています。

人口減による担い手の不足や、血縁、地縁、社縁といったつながりが弱まっている現状を踏まえ、人と人、人と社会がつながり支え合う取組が生まれやすいような環境を整える新たなアプローチが求められています。

人と人とのつながりそのものがセーフティネット



出所：地域共生社会のポータルサイト（厚生労働省）の「地域共生社会」とは

社会福祉法（＝社会福祉の共通的基本事項）

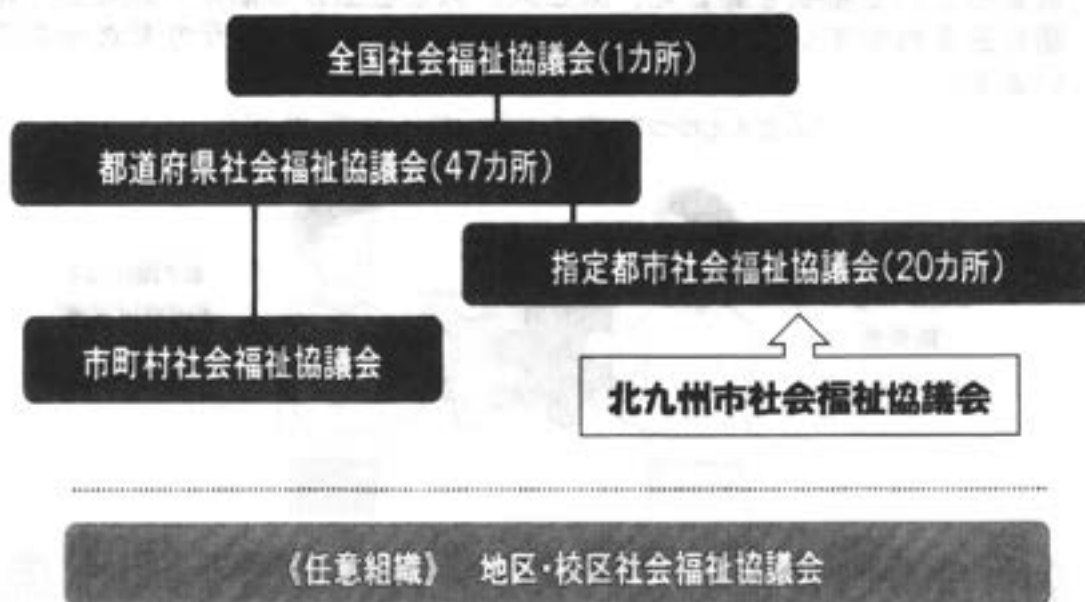
（地域福祉の推進）

第4条 地域福祉の推進は、地域住民が相互に人格と個性を尊重し合いながら、参加し、共生する地域社会の実現を目指して行われなければならない。

- 2 地域住民、社会福祉を目的とする事業を経営する者及び社会福祉に関する活動を行う者（以下「地域住民等」）は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が確保されるように、地域福祉の推進に努めなければならない。
- 3 地域住民等は、地域福祉の推進に当たっては、福祉サービスを必要とする地域住民及びその世帯が抱える（中略）課題（以下「地域生活課題」）を把握し、地域生活課題の解決に資する支援を行う関係機関（以下「支援機関」）との連携等によりその解決をはかるよう特に留意するものとする。

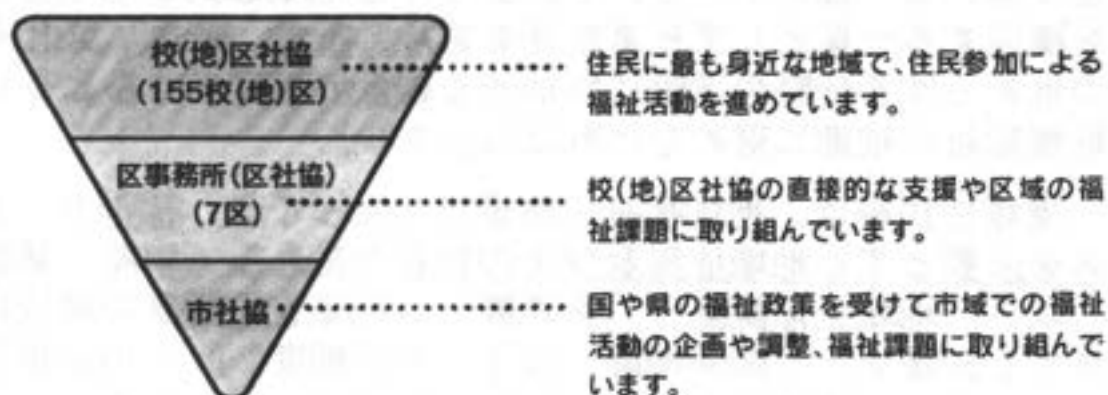
私たち、社会福祉協議会（社協）は

誰もが自分らしく安心して暮らすために、住民が主体の地域福祉活動を推進するように社会福祉法（第109条）で定められた、公共性と自主性を有する民間の福祉団体です。



私たち、北九州市の社協は…

住民による小地域福祉活動の基盤組織である155の校(地)区社会福祉協議会（校(地)区社協）と7つの区社協（区事務所）と市社協で構成されています。



北九州市地域福祉活動第六次計画 2021～2025
地域共生！きたきゅうプラン

地域福祉は社会福祉協議会だけで実践できるものではなく、地域住民、校(地)区社協をはじめとする地域団体、社会福祉施設、企業、NPO・ボランティア団体、学校、行政等地域に関わる多様な主体が協働し、連携していく必要があります。



北九州市地域福祉活動第6次計画 2021～2025

「地域福祉」とは、一人ひとりが地域において、安心して暮らすことができるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者が互いに協力して地域の困りごと（地域生活課題）の解決に取り組む考え方です。

基本理念

「みんなが安心して暮らせる
支え合いのまちづくり」

<基本理念の考え方の基礎>

- ① 住民主体（住民が主役）
- ② 地域共生社会の実現

北九州市地域福祉活動第6次計画 2021～2025

基本目標Ⅰ

福祉の風土を広げ、地域の困りごとに気付く力を高めよう
～見守りのしくみの充実～

基本目標Ⅱ

住民、関係機関・団体のネットワークで、困りごとを話し合おう
～話し合いのしくみの充実～

基本目標Ⅲ

一人ひとりの困りごとを助け合おう
～助け合いのしくみの充実～



社会福祉法第4条第3項

地域住民等は、「地域生活課題」を

- ①把握（見守りのしくみ）し、
- ②支援機関との連携等（話し合いのしくみ）により、
- ③その解決（助け合いのしくみ）をはかる。

北九州市の校(地)区社会福祉協議会活動（助成体系）

ふれあいネットワーク活動実施要綱

ふれあいネットワーク活動
（見守り・話し合い・助け合いのしくみづくり）

地域共生社会実現のための助成金交付要綱

サロンを
新設する活動

小地域福祉活動計画を
策定する活動

ウェルクラブ活動

小地域福祉活動計画を
推進する活動

例えば、

福祉教育

住民啓発講座

世代交流活動

福祉救援体制づくり

などなど

困りごとを話せる地域交流の場「サロン」

目指したいサロン

各地域で、様々なかたちで展開されている「サロン活動」。「サロン」とは、地域住民が作る地域交流の場です。

気軽に立ち寄れる

一人ひとり、
参加者の気持ちに
寄り添い尊重する



困りごとを話せる

安心して過ごすことが
できれば困りごと
も話せるかも…

誰もが利用できる

高齢者だけでなく
多世代で様々な人を
広く受け入れる

自由に過ごせる

プログラムが
あってもなくても
自由に過ごしてもOK

役割を活かせる

みんなができることを
少しずつ出し合って
役割分担を

「校(地)区社協がすすめるサロン活動の手引き」(北九州市社会福祉協議会)

127の校(地)区社協で、480のサロンが開催。(令和6年3月末)

ウェルクラブ活動 ~子どもたちのふれあいネットワーク活動~

ウェルクラブ活動は地域の宝である子どもたちに見守り・話し合い・助け合いの3つのしくみからなる「ふれあいネットワーク活動」等を体験してもらうことによって、次の世代の子どもたちと保護者などの世代に対して、福祉の風土づくりを進めるものです。この子どもたちの活動を、Well(適切、親切)・Wellcome(歓迎)・Welfare(福祉)をイメージして「ウェルクラブ(Welclub)」と名づけています。



《小地域福祉活動計画》

校（地）区社会福祉協議会が中心となって、住民や各種の地域団体・関係機関などに呼びかけて策定する、校（地）区の地域福祉活動に関する中長期的な計画（3年～5年）

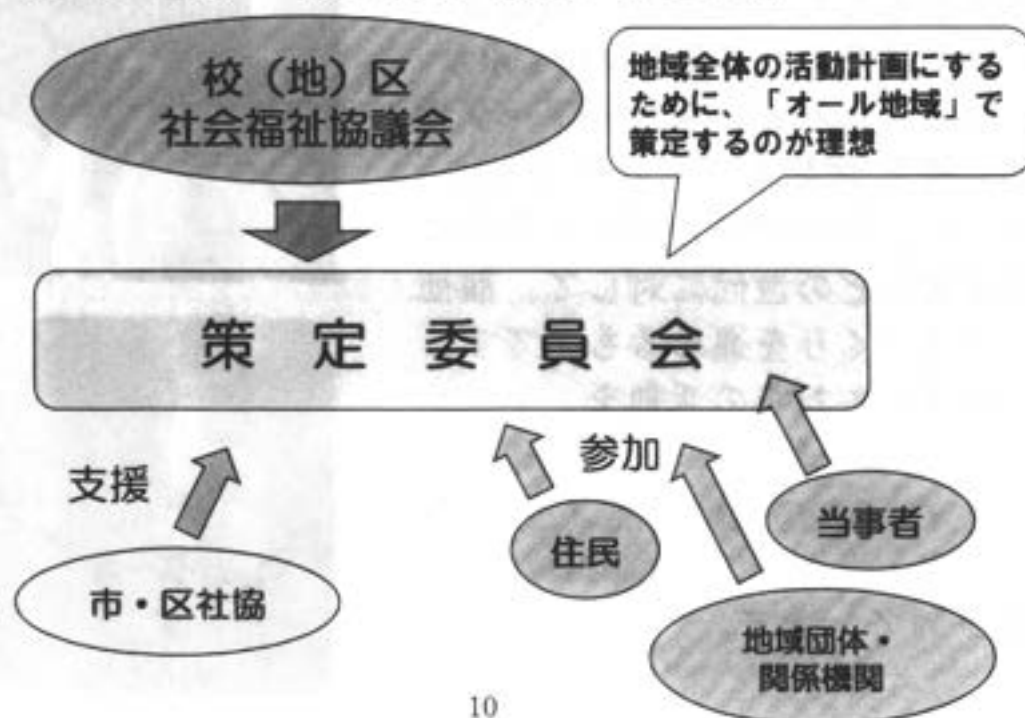
- ・ 地域における新たな生活課題
- ・ 担い手不足など、活動を進めていく上での課題

計画づくり

- ・ 新たな生活課題への対応
- ・ 活動の新たな体制づくり

小地域福祉活動計画づくり

計画づくり＝「話し合いの場」をつくる



個人情報の適切な取り扱いのために



個人情報を扱う際は、

- 本人同意の原則を徹底しましょう。
- 管理はより安全な方法で。
- 不要な個人情報の消去・破棄を徹底しましょう。



校(地)区社協の運営～校(地)区社協先輩役員の方の言葉～

【活動者の確保・育成がうまくいっている会長さん達】

- ★ 「まちの行事に参加してくれた住民にこまめに活動への勧誘の声掛けを行う。」
(古紙回収・草刈り・餅つき etc)
- ★ 「一人の人に役割を重複させない。」
- ★ 「自治会推薦の方に自治会の役が終わった後にも活動をお願いしている。」
- ★ 「探したら(人材は)いる！」
(民生委員エリアや町内会ごとで探す)
- ★ 「4人の50代の方が役員になってくれた」

校(地)区社協の運営～校(地)区社協先輩役員の言葉～

【活動がうまくいっている会長さん達は】

- ★「連絡調整会議（話し合い）は大切」
（会議参加者が必ず発言できるような会議に）
- ★「担当のグループを作って、活動はそのグループに任せる」
- ★「意識的に任せる。頼む。」
（活動者自身の生きがい・社会参加）
- ★「みんなが楽しくできるよう活動を調整」
（できる人が、できることを少しずつ）
（個別支援に取り組んで）
- ★「社協活動は楽しくない。でも必要だから。社協の活動はワクワクする！」

地域福祉活動を推進するための財源

地域福祉活動の財源には、自治体からの補助金・委託金をはじめ、活動団体への賛助会費や寄付金、収益事業による自主財源、共同募金配分金などがあります。

地域福祉活動を安定的、継続的に進めることができるよう、これらの財源を確保する取り組みを進めていきましょう。



これからの「社協活動」について

～時代に沿った活動とは～



八幡東区
前田第四地区社会福祉協議会
会長 久野 尚也



本日お話したいこと

- 1 前田第四地区について
- 2 会長に就任して困ったこと
- 3 今までの「社協活動」を振り返って
- 4 これからの「社協活動」について

1 前田第四地区について



前田第四地区は、どんなところなんだろう？
データなどから見てみよう！！

前田第四地区の概要

- 八幡東区の西側に位置し、中には八幡東区と八幡西区の両方に跨っている町会もある。
- 地区全体が高台にあり、坂が非常に多い。
- 高齢化が進む半面、小中学校が学力向上に力を入れており、子育て世帯の住みたい地域に選ばれている。
- 山笠、さくらまつり、盆踊りなどの地域イベントが盛んに行われている。



前田第四地区の概要

| | | |
|-------------|---------|---------|
| 地区の概況 | 人 口 | 2,739人 |
| | 世 帯 数 | 1,389世帯 |
| | 高 齢 化 率 | 41.3% |
| 福祉協力員数 | | 27人 |
| 町会数 | | 13町会 |
| 地区社協内の民生委員数 | | 5人 |

地域の組織体制

| 団体名 | 自治区会 | 地区社会福祉協議会 | 地区民生委員 児童委員協議会 | 市民センター まちづくり協議会 |
|---------------------|-------------|-------------|---------------------------|--------------------|
| 八幡東区における団体 (設置)数 | 25 | 21 | 12 | 12 |
| 組織名 | 前田第三 | 前田第三 | 前田南 世帯担当 委員数 計8名 | 5人 <u>平野</u> |
| | <u>前田第四</u> | <u>前田第四</u> | <u>3人</u> (八幡西 :2人) | |

小地域福祉活動計画について

前田第四地区 小地域福祉活動計画 (令和4年度策定)

前田第四地区では、
右の体系図にある
活動に力を入れて
取り組んで
いるんだね！！



基本理念

支え合いふれあい溢れる
安心なまちへ

【基本目標】

1

地域の
ふれあいを
大切に

2

支え合いの
心を大事に
しよう

3

安心な町を
みんなで
作ろう

★重点実施項目

●ふれあいの場の創設

(実施項目)

- ・敬老祝賀会や一人暮らし年長者交歓会の実施
- ・前田緑園山荘への協力
- ・ふれあい餅つきなど地域団体との共催

★重点実施項目

●ふれあいネットワーク活動の充実

(実施項目)

- ・自治会や民生委員等との情報共有
- ・福祉協力員やボランティア協力員の育成
- ・次世代の継承強化（後継者の育成）

●犯罪防止・災害時活動の強化

(実施項目)

- ・広報誌や隣同士の声かけによる犯罪被害の防止
- ・災害時の避難誘導など助け合い精神の醸成
- ・見守り活動や地域内の事案に対する情報共有

2 会長に就任して困ったこと



久野会長は、八幡東区の会長さんの中では
最年少の会長さんなんだ！！

率直な感想（困ったこと）

- 会長就任直後は、社協としてどのような活動をすれば良いのかわからなかった。

（コロナ禍での交代であったため、地域活動もストップしていた）

- 会議には経験を積んだ方が多く、会議で意見をまとめることが難しい。
- 新しいことを取り入れることが難しい。

（例：会議や研修の案内を手紙で出しているが、業務削減のために
LINEで案内をしたいと提案したが実現が難しかった。）



3 今までの「社協活動」を振り返って

30th
ふれあいネットワーク活動



社協の活動にも色々あるけど、どんな活動をすればいいか考えるのは難しいね。

前田第四地区社協の活動内容

- ・ふれあいネットワーク活動
- ・敬老祝賀会、ひとり暮らし年長者交歓会の実施
- ・ふれあい餅つき、盆踊りの実施
- ・連絡調整会議の開催（毎月）
- ・研修会の開催（2か月に1回）



など

社協活動の現状について

- ・地域行事が活発であるため、社協の会議では行事の話し合いが中心である。
- ・地域での見守り活動は、八幡東区版のふれあいネットワーク活動の形の中で実施されているが、見守り情報等の共有ができていない。



○社協は、地域行事を行っているだけで良いのか??



**(※地域行事も、地域活動参加・見守りの
きっかけ等として、とても大事!!)**

社協としての活動を考える

- ・今後の活動について考えるため、福祉のまちづくり講座を利用して、福岡県立大学の村山先生を講師に呼んで勉強会をした。

その打ち合わせの際に、ざっくばらんに意見交換を行うことができ、社協としてどのような活動をすればいいか考えがまとまった。



○社協として、より見守り活動に力を入れるべきではないか??

○若い世代の活動参画のために、より意識啓発に取り組むべきではないか??

4 これからの「社協活動」について



今後の前田第四地区社協の活動が、
どの様になっていくか楽しみだね♪

これからの「社協活動」について

社協活動の目的は「住民同士が顔を知っていて、支え合う地域」づくりだと考える。そのためは、意識啓発を行い活動を理解し参画してもらうことが重要である。
(※今年度初めて、福祉協力員に委嘱状を交付して意識付けする等を行った)

今後は、

- ・ふれあいネットワーク活動や、地域行事、住民への意識啓発を行いつつ、若い世代を巻き込むために、子ども会の様に子どもが集まれる場所を復活させて、LINE等のICTも活用しながら、その親世代の参画も促していく。

これらにより、支え合いふれあい溢れる安心なまちを目指したい。



ご清聴、ありがとうございました！
少しでも、お役に立てれば幸いです。



久野会長は、「何か一つでも変えて、次の会長につなげられれば」とおっしゃっていたよ！

持続可能な地域福祉 活動を目指して

～西戸畑地区社協の取り組み～



戸畑区
西戸畑地区社会福祉協議会
会長 今泉 孝子

持続可能な地域福祉活動から 持続可能なまちづくりへ向けて

西戸畑地区社会福祉協議会では、

「誰もが自分らしく、住み慣れた地域で安心して最後まで暮らせること」を目指した活動に取り組んでいます。

本日のお話のポイント

1. 西戸畑地区と社協の紹介
2. 西戸畑地区社協の
小地域福祉活動計画について
3. 持続可能な地域福祉活動の事例紹介

西戸畑地区の概要

★戸畑発祥のまち

| | |
|-------------|---------|
| 人口 | 3,860人 |
| 世帯数 | 2,215世帯 |
| うち、見守り対象世帯数 | 約899世帯 |
| 高齢化率 | 29.5% |
| 福祉協力員 | 24人 |
| 地区民生委員 | 8人 |



●戸畑駅の北側、若戸大橋の足元に位置する。

●かつては、大型貨物船やトロール船などの出入りで賑わい、福祉施設や病院、神社、工場などの施設が集中している。

●古くから栄えていたため、地域の結束力が強く、市民センターを拠点に諸活動が活発。

●駅が近いため、マンションが増えて、自治会加入者が減っている。

3

西戸畑地区社会福祉協議会について



- 昭和46年度 西戸畑地区社協設立
- 平成7年度 ふれあいネットワーク活動を開始
- 令和元年度 小地域福祉活動第一次計画を策定
計画の期間は令和2～6年度
- 令和6年度 小地域福祉活動第二次計画を策定
予定

今年度

主な活動について

・転倒予防健康サロン



みんなの体操

ベタンク

とお茶会 など

・西戸畑元気になるサロン



外部講師による
多彩な講座

※サロンで製作
した作品で、文化祭
にも参加しています

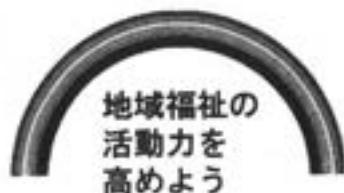
小地域福祉活動計画 西戸畑 ふくしのまちづくり計画

基本理念

「地域でつながる 赤い架け橋

安全・安心で愛ある街 西戸畑」

3つの目標



地域福祉の
活動力を
高めよう

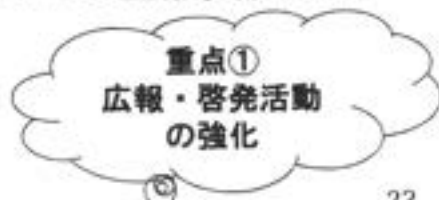


地域の
つながりを
深めよう

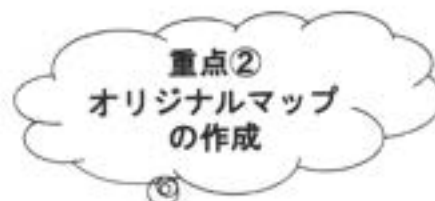


災害に
負けない力を
蓄えよう

2つの重点実施項目



重点①
広報・啓発活動
の強化



重点②
オリジナルマップ
の作成

重点1 広報・啓発活動の強化

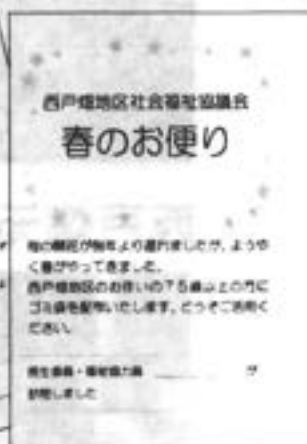
～社協だよりの発行とチラシ等の充実と拡大～

見守り活動のお手紙

社協活動を知ってもらい、
福祉協力員募集へもつなげたい



1回目訪問時



2回目以降の、春夏秋冬のお便り

重点2 オリジナルマップの作成

福祉マップの更新

高齢者世帯などが孤立しないよう、福祉情報や見守り訪問、異常時の関係機関との連携のため、平成28年に福祉マップを作成し、昨年更新を行いました。



独居高齢者世帯は？

危険個所・避難場所はどこ？

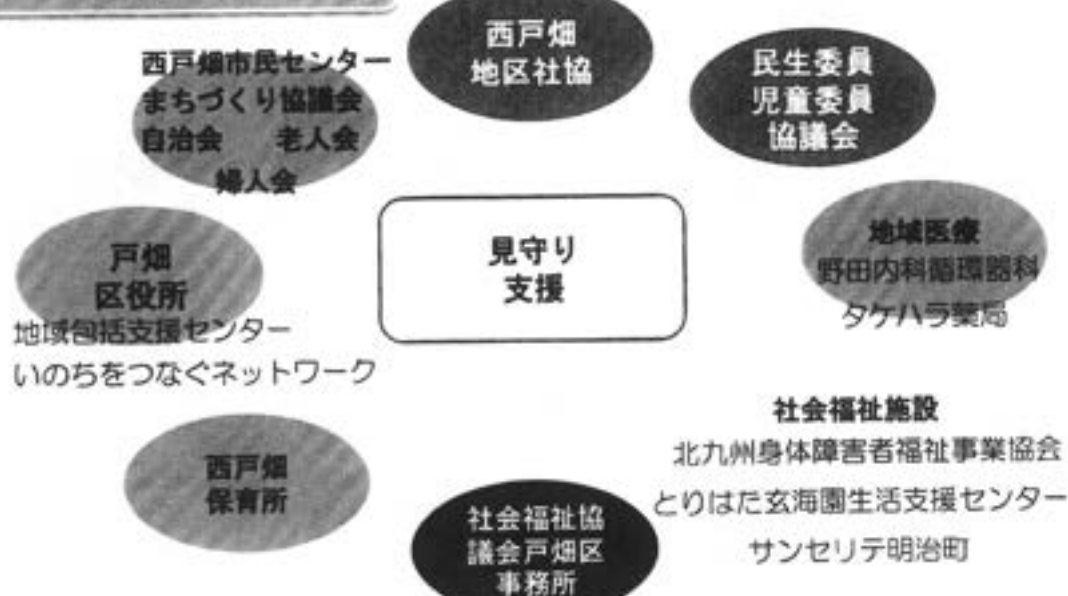
75歳以上夫婦のみ世帯は？

前回つくった福祉マップから変更になった世帯多数

民生委員と福祉協力員の情報交換ができる貴重な時間になる。

小地域福祉活動計画を進めるポイント

連携と協力



持続可能な地域福祉活動のための 事例紹介①

カフェ・アイリス

介護のことで不安を抱えている方、認知症の方やその家族がほっと一息つける場所として、市民センター内にOPEN！



メニューは、
・介護相談
・おしゃべり



西戸畑地区社協・西戸畑まちづくり協議会・西戸畑市民センター
・住宅型有料老人ホームサンセリテ明治町 の連携事業

持続可能な地域福祉活動のための 事例紹介②



おわりに

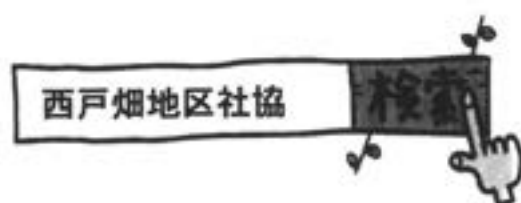
- 各団体と協力体制を築くことによって見守り活動の幅が広がる。
- 個人情報の保護を守りながらも、状況によっては必要とされる手助けを考えていく。

【課題】

- 今後の人材について
持続可能な活動を継続していくために、負担を感じない活動、楽しくできる活動に取り組んでいく。



ご清聴
ありがとうございます。
ございました。



令和6年度 新任役員研修

地域のつながりと 共に生きる力を育む

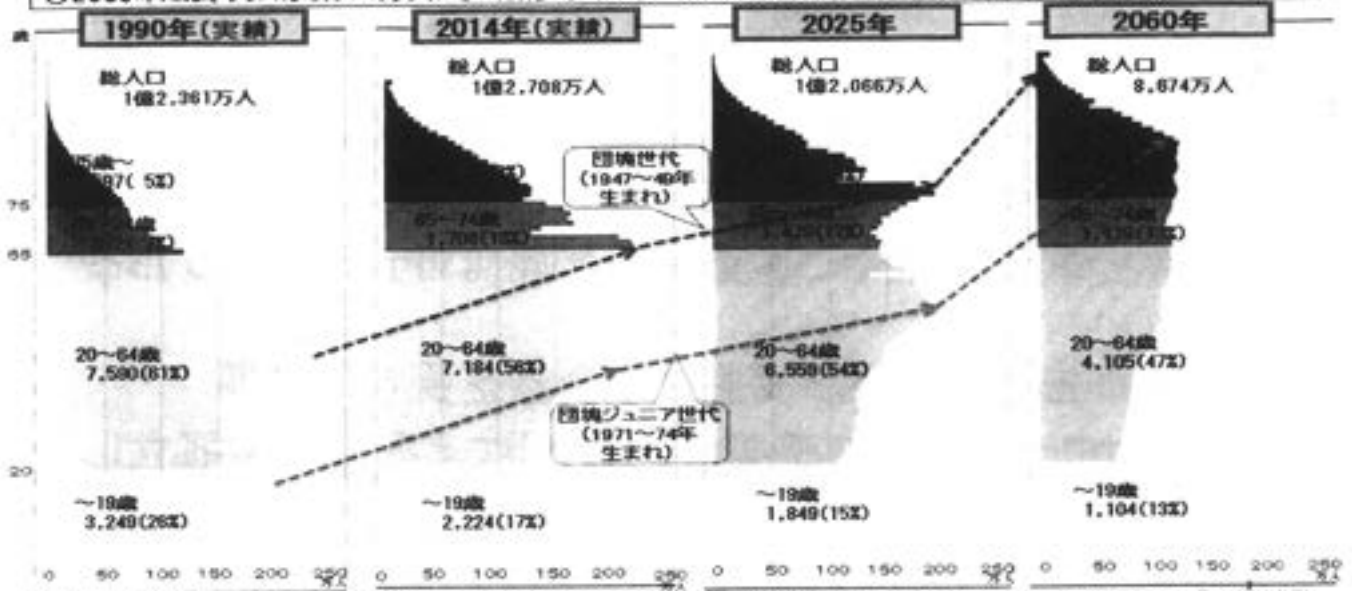
北九州市立大学 特任教員
末永 和也

地域の現状と課題

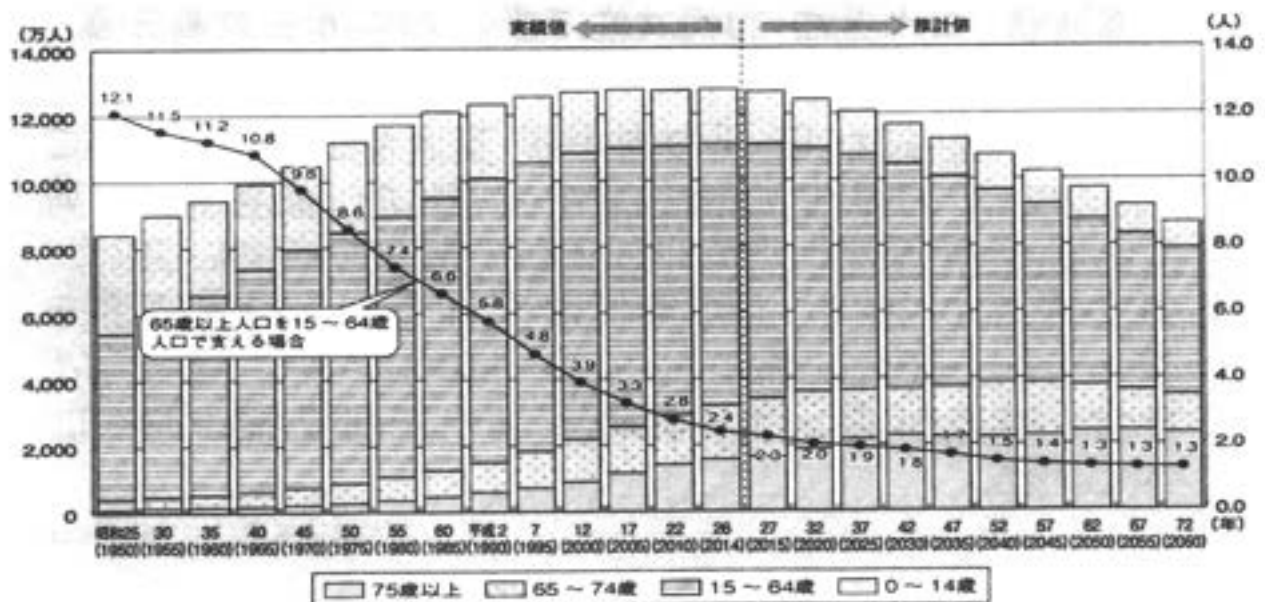


日本の人口ピラミッドの変化

○団塊の世代が全て75歳となる2025年には、75歳以上が全人口の18%となる。
 ○2060年には、人口は8,674万人にまで減少するが、一方で、65歳以上は全人口の約40%となる。



高齢世代人口の比率



地域の現状と課題

【最近では】

- 高齢の親と働いていない独身の50代の子とが同居している世帯(いわゆる「8050」)
- 介護と育児に同時に直面する世帯(いわゆる「ダブルケア」)
- 障害のある子の親が高齢化し介護を要する世帯
- 新型コロナウイルス感染症の影響による困窮や孤立した世帯

孤独感、30代男性・20代女性で多く 23年厚生労働白書

厚生労働省は1日、「つながり・支え合い」をテーマにした2023年の厚生労働白書を公表した。孤独感が「常にある」と評価されたのは30代の男性で10.4%、20代の女性で11.2%で、この年代がそれぞれの性別で最も多かった。60代以降に比べ20～50代が高く、会社など社会と接点が多いはずの現役世代で孤立感が強くなっている。

日本経済新聞(2023年8月1日)

孤独感、30代男性・20代女性で多く 23年厚生労働白書

調査は「人とのつきあいが無いと感じることがありますか」など「孤独」という言葉を用いずに尋ね、点数化した。孤独感が「常にある」「時々ある」との評価になった人は男女ともに20～50代で5割を超えた。60代以上では30～40%台にとどまった。単身世帯の割合は20年に38%と4割に迫る。

新型コロナウイルスの感染拡大でテレワークやオンライン会議などが普及し、対面で接する機会が減少したことも孤独感を増す一因と言えそうだ。

日本経済新聞(2023年8月1日)

地域には「二面性」がある

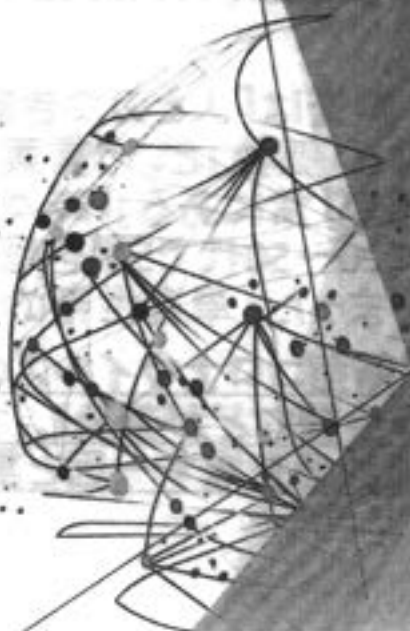


優しい顔(支え合う)



冷たい顔(排除する)

地域共生社会の実現



地域共生社会の実現

子供・高齢者・障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」を実現する。このため、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みを構築する。

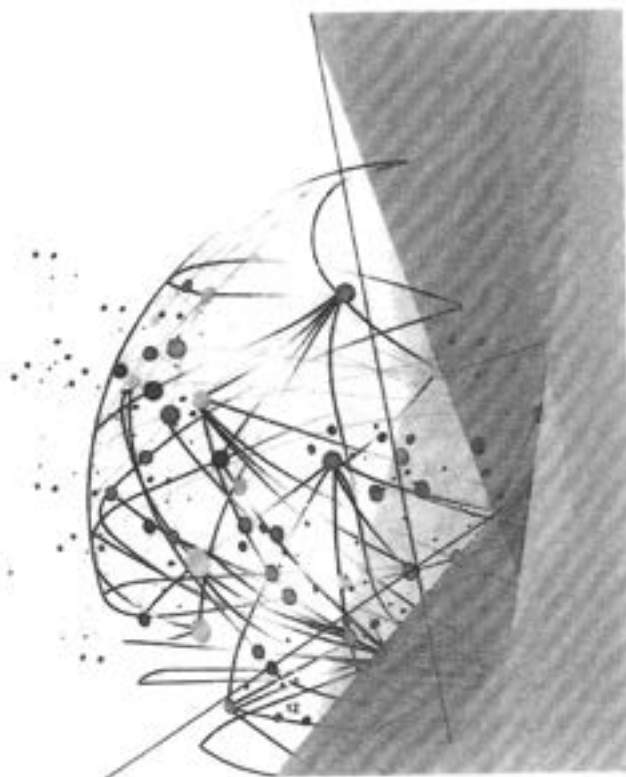
「ニッポン一億総活躍プラン」(平成28年6月2日閣議決定)

地域共生社会の実現



厚生労働省「地域共生社会のポータルサイト」(<https://www.mhlw.go.jp/focus/kyoseisoc/>)

地域のつながり



小地域福祉活動計画の活用

小地域福祉活動計画とは、校(地)区社会福祉協議会が中心となって、住民や地域団体・関係機関等に呼びかけて策定する、校(地)区の地域福祉活動に関する中長期の計画です。

北九州市社会福祉協議会「小地域福祉活動計画策定の手引き 改訂版」

13

小地域福祉活動計画の有用性

<計画づくりのココがすごい！>

- ① 住民自身で地域のお宝や課題の「発見」と「共有」ができます
- ② 目標を共有し、同じ方向を向いて協働することができます
- ③ 優先順位や重点がわかり、これからの取り組みの道筋がわかります
- ④ 計画づくりの過程で、人が育ち、地域の関係者の連帯も強くなります
- ⑤ 計画を公表することで、理解者、応援者を増やすことができます

「北九州市社会福祉協議会HP」

14

合理的配慮の提供

日常生活・社会生活において提供されている設備やサービス等については、障害のない人は簡単に利用できても、障害のある人にとっては利用が難しく、結果として障害のある人の活動などが制限されてしまう場合があります。

このような場合には、障害のある人の活動などを制限しているバリアを取り除く必要があります。このため、障害者差別解消法では、行政機関等や事業者に対して、障害のある人に対する「合理的配慮」の提供を求めています。

内閣府 (https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/pdf/gouriteki_hairyo2/print.pdf)

15

合理的配慮の提供が義務化 (障害者差別解消法の改正に伴い令和6年4月から)

| | 行政機関等 | 事業者 |
|-----------|-------|-----|
| 不当な差別的取扱い | 禁止 | 禁止 |
| 合理的配慮の提供 | 義務 | |

内閣府 (https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/pdf/gouriteki_hairyo2/print.pdf)

16

合理的配慮の具体例

※合理的配慮の内容は個別の場面に依りて異なるものになりますので、以下の例はあらゆる場面が必ずしも適用するものではないこと、また以下の例以外であっても合理的配慮に該当するものがあることに留意しましょう。

| 物理的環境への配慮 (例：肢体不自由) | 意思疎通への配慮 (例：弱視難聴) | ルール・慣行の柔軟な変更 (例：学習障害) |
|--|---|--|
|  <p>【障害のある人からの申出】 飲食店で車椅子のまま座席したい。</p> |  <p>【障害のある人からの申出】 難聴のため難聴によるコミュニケーションを希望したが、難聴でもあるため細いペンや小さな文字では読みづらい。</p> |  <p>【障害のある人からの申出】 文字の読み書きに困難がかかるため、セミナーへ参加中にホワイトボードを最後まで書き写すことができない。</p> |
|  <p>【申出への対応（合理的配慮の提供）】 机に固定付けの椅子を片付けて、車椅子のまま座席できるスペースを確保した。</p> |  <p>【申出への対応（合理的配慮の提供）】 太いペンで大きな文字を書いて筆談を行った。</p> |  <p>【申出への対応（合理的配慮の提供）】 書き写す代わりに、デジタルカメラ、スマートフォン、タブレット端末などで、ホワイトボードを撮影することとした。</p> |

内閣府 (https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/pdf/gouriteki_hairyo2/print.pdf)

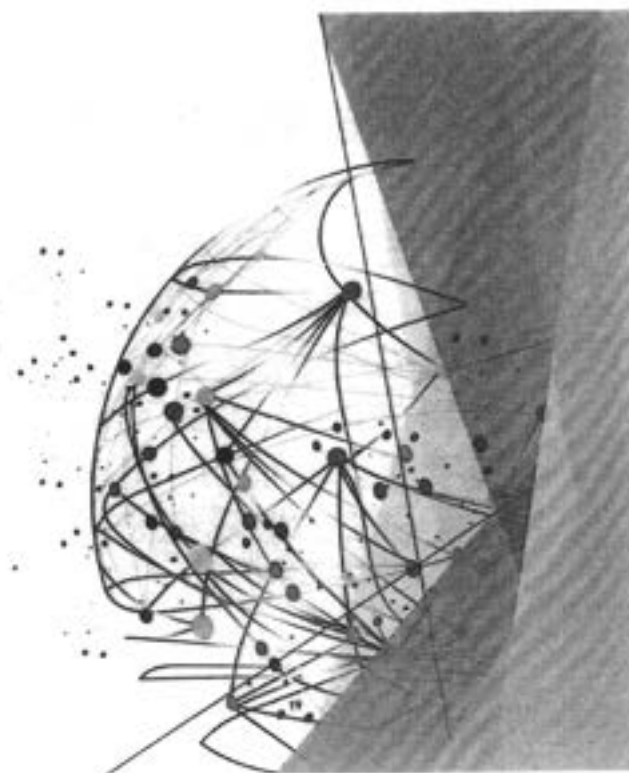
地域の福祉活動を推進する



福祉協力員
(社会福祉協議会会長からの委嘱)

民生委員・児童委員
(厚生労働大臣からの委嘱)

共に生きる力を育む



「共に生きる力を育む」教育(『月刊福祉』3月号)
日本福祉大学学長 原田正樹

地域共生社会といっても法律や制度、事業
だけでそれが実現しないことは明らかである。
私たち一人ひとりの意識と行動を変えていくた
めの学びが必要である。

「お客様化社会」という市民の顧客意識

市民の顧客意識が強くなり「お客様化社会」になっている。本来市民は、お互いに支え合いながら自分たちで社会の課題を解決し、社会をつくっていくものです。それが市民社会であり、そこを支えるのが地域福祉活動です。現在は「地域福祉サービス」という面だけでとらえられ、地域住民はそのサービスの顧客になってしまいがちです。

大阪ボランティア協会理事長 早瀬昇：月刊福祉8月号

□

我が事にするための福祉教育

我が事にする土台として、幼少期から地域福祉に関心を促し、地域活動への参加を通して人間形成を図っていく福祉教育が必要である。就学前から義務教育、高等教育といったそれぞれの段階で地域貢献学習（サービスラーニングやボランティア活動）などに積極的に取り組み、福祉意識の涵養と理解を深めていくことが大切である。またこうした地域福祉の学びは生涯学習の視点からも取り組む必要がある。

「厚生労働省 地域力強化検討会 中間とりまとめ」
(座長：日本福祉大学 原田正樹)

福祉教育が大切にしてきたこと

共に生きる力

他者と共に生きる力を育む。

ふくし

ふだんの 暮らしの しあわせ

相互実現的自立

interdependence お互いによく生きる

関係性のなかの自立

地域福祉は福祉教育にはじまり、福祉教育におわる。

原田正樹(2022)『福祉教育の理論と実践方法』全国社会福祉協議会, p.25.

北九州市社会福祉協議会 福祉教育推進委員会

| 選出区分 | 所属 |
|---------|--------------------------------------|
| 高齢福祉 | 公益財団法人 北九州高齢者福祉事業協会 |
| 障害福祉 | 北九州市障害福祉団体連絡協議会 一般社団法人 先天性ミオパチーの会 |
| 教育関係者 | 北九州市教育委員会 |
| 学識経験者 | 北九州市立大学 |
| 企業 | 株式会社ギラヴァンツ北九州 |
| 地域福祉活動者 | 校(地)区社会福祉協議会 |

ふくし教育プログラム

子どもたちが自分の住んでいる地域の福祉環境について知り、みんなにとっての「ふだんのくらしのしあわせ」を考える中で、思いやりの心や相手を理解しようとする豊かな心を育てていくことを目的としています。また、学校と社会福祉協議会や協力団体、地域が連携して子どもたちの「多様性を認め合う力」を醸成していくためのツールであると考えています。

プログラム 活動第一頁

- 1** 「ふくし」ってなんだろう？
～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを考えよう～
内容例 「ふくし」についてのお話、「ふくし」をキーワードにしたお話
「ふくし」をキーワードにして、自分たちが暮らす地域について話してみよう
- 2** 人ごとなんかじゃない！「車を取る」ってどういうこと？
内容例 高齢者福祉協議会や子ども向け認知症サポーター養成講座
いざいざと生活している高齢者のサポーターになる体験を聞く
- 3** 人ごとなんかじゃない！「障がいがある」ってどういうこと？
内容例 障害者福祉協議会
ボランティアサポーター養成講座
障がいや病気があっても、いざいざと生活しているサポーターになる体験を聞く
- 4** 身体と目薬のはなし
内容例 赤い 視覚障害協会や聴覚障害者協会についてのお話
ランダムクイズやクイズ形式で身体と目薬について「ふくし」の活動を知る
おもしろいお話を聞いて身体と目薬について知る
- 5** やってみよう！ボランティア活動
内容例 ボランティア活動についてのお話、フェルクラフ活動のお話
ボランティア活動をしているサポーターの話を聞く
活動中のボランティア活動体験や交流（オンライン版）
ボランティアによる活動サービスの提供を見学や体験、お楽しみ会、お披露目

ふくしすごろく



ふくし教育プラットフォーム（北九州市版）

- ・北九州市社会福祉協議会
- ・公益社団法人 北九州高齢者福祉事業協会
- ・北九州市障害福祉団体連絡協議会
- ・一般社団法人 先天性ミオパチーの会
- ・北九州市教育委員会
- ・株式会社ギラヴァンツ北九州
- ・北九州市立大学
- ・北九州市立大学地域創生学群 学生

ウェルクラブ活動

ウェルクラブ活動は地域の宝である子どもたちに見守り・話し合い・助け合いかの3つのしくみからなる「ふれあいネットワーク活動」等を体験してもらうことによって、次の世代の子どもたちと保護者などの世代に対して、福祉の風土づくりを進めるものです。

この子どもたちの活動を、Well（適切、親切）・Wellcome（歓迎）・Welfare（福祉）をイメージして「ウェルクラブ(Wellclub)」と名づけています。

「北九州市社会福祉協議会HP」

北九州市では

みんなが安心して暮らせる
支え合いのまちづくり

11

ご清聴ありがとうございました

北九州市立大学 特任教員 末永 和也(すえなが かずや)
〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号
TEL. 093-964-4216
E-mail: k-suenaga@kitakyu-u.ac.jp

12



イメージキャラクター

「プチボザウルス」

このキャラクターは、子どもたちの小地域福祉活動から生まれた社会福祉協議会マスコットです。プチボザウルスのプチボとは、プチ「小さな、ほんの少しの」ボランティア（福祉活動などに参加する人）の意味を持ち、「誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」をすすめる社会福祉協議会の活動をイメージしています。

ふれあいネットワーク



社会福祉法人

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号(ウェルとばた内) <http://www.kitakyushu-shakyo.or.jp/>

■総務企画部

総務課・財務企画課 TEL 882-4401 FAX 882-3579
ウェルとばた管理課 TEL 871-8042 FAX 871-8043
ウェルとばた組合案内 TEL 871-7200 FAX 871-7211

■地域福祉部

地域支援課 TEL 882-4425 FAX 873-1351
各区事務所(所在地に記載)
活動推進課 TEL 881-0110 FAX 881-9880
〔ボランティア・市民活動センター〕
〔研修施設〕 TEL 881-6321 FAX 881-6306

■生活支援部

生活福祉課・自立支援課 TEL 873-1295 FAX 873-1351
福祉推進課(福祉・市民福祉センター「ふれあい」) TEL 882-4914 FAX 882-2268
生活福祉資金相談コーナー TEL 882-4405 FAX 871-4585

■北九州シニアネットワークアカデミー

年長者研修大学校 希望学舎 TEL 591-2626 FAX 591-2629
年長者研修大学校 共生学舎 TEL 645-8888 FAX 645-8881

■門司区事務所/門司区社会福祉協議会 TEL 331-3888 FAX 331-5994
門司区社会福祉ボランティア・市民活動センター TEL 322-2966 FAX 331-5994

■小倉北区事務所/小倉北区社会福祉協議会 TEL 571-5452 FAX 571-9553
小倉北区社会福祉ボランティア・市民活動センター TEL 562-2051 FAX 562-2051

■小倉南区事務所/小倉南区社会福祉協議会 TEL 951-5388 FAX 951-5391
小倉南区社会福祉ボランティア・市民活動センター TEL 951-5220 FAX 951-5391

■若松区事務所/若松区社会福祉協議会 TEL 761-3422 FAX 761-3660
若松区社会福祉ボランティア・市民活動センター TEL 761-2208 FAX 761-3660

■八幡東区事務所/八幡東区社会福祉協議会 TEL 681-6601 FAX 681-6013
八幡東区社会福祉ボランティア・市民活動センター TEL 662-0911 FAX 662-5671

■八幡西区事務所/八幡西区社会福祉協議会 TEL 642-5035 FAX 642-5077
八幡西区社会福祉ボランティア・市民活動センター TEL 642-0407 FAX 642-5077

■戸畑区事務所/戸畑区社会福祉協議会 TEL 871-3259 FAX 881-8557
戸畑区社会福祉ボランティア・市民活動センター TEL 881-8555 FAX 881-8557